

令和8年度 学校「学ぶ力」育成プログラム  
 自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

学校番号：25007  
 学校名：豊園小学校

「学ぶ力」	
成果	課題
◇小グループでは、意見を伝え合うことができ、他者の意見を取り入れながら自分の考えを深めることができる。 ◇与えられた課題など、方向性がはっきりしているものには安心して学習に取り組むことができる。 ◇基礎的な学習が身に付いている子が多い。	◇児童アンケートや教職員アンケートでは、「自分の思いや考えを工夫しながら表現する」「困難に対してねばり強く取り組む」力はやや弱い。 ◇札幌市の共通指標「自分が思っていることや感じていることを人に伝えている」「自分で計画を立てて勉強している」という項目での数値が低い。
「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題	
◇札幌市の共通指標で「自分が必要とされている」と感じている等の相互承認に関連する項目において、他の項目より数値が低く、特定の学年においてはかなり低くなっている。学習やその他の活動の中で、一人一人が「自ら考え、実践する」場を設定し、自信をもてるような関わりを継続していく。	
「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力 見通しをもって考え、子ども自身が納得する結果を得るまで取り組む力を育てる。	
課題探究的な学習の推進 に向けて	自主的な活動の充実 に向けて
(1) 研究の重点「自ら学び続ける子の育成」の実現 →子どもが「考えたい」と思う問題や課題提示の工夫 →子どもが課題とじっくり向き合ったり、見通しをもって考えたりする時間の確保、 <u>見通しの交流</u> → <u>ICTを活用した意見の表出及び交流の場の設定</u> (2) 他学年や地域とつながり、自ら動き出す学習活動の充実 →体験的な活動を取り入れた総合的な学習の時間の充実 →保護者や地域人材を生かした学習活動の設定 →出前授業や校外学習の設定	①よりよい学級・学年にするための話し合い活動の充実 →学級・学年の様々な課題を議題にした学級会・学年集会の実施 ②自分や自分たちの生活をふり返る場の設定 →「4つの子」の姿を目標にしたセルフマネジメントシートを活用し、「なりたい自分」を想定させ、定期的にふり返る活動の継続 ③子どもの「やりたいこと」を生かした委員会活動 →GKP（学校を考えるプロジェクト）による自主的な活動の推進 ④ <u>互いのよさや頑張りを伝え合う活動</u> →「ありがとう」カードの交流、GKP 総会 ⑤ <u>パートナー校との交流（今年度何ができるかを検討する）</u>
「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICT の活用について	
◇オクリンクプラスなどの学習アプリを活用し、意見交流の中から、互いの考えのよさや自分との違いを考える場をより多く設定する。 ◇ドキュメントなどを用い、自分の考えを簡潔にまとめ、プレゼンするような場を各教科で設定する（低学年もできるところから） ◇学習の見通しを簡潔にオクリンクプラスのカードにまとめ、見通しを可視化する。 ◇小中一貫での児童・生徒交流にグーグルミートを活用する。	

<本プログラムの実行に向けて>

